

景況感調査「沖縄点気」

～2014年3月調査～

～68点でやや好調 観光、建設関連がけん引。消費税増税後の消費落ち込みが懸念される～
 今回の3月調査では、前回12月調査に比べ1点低い68点となり、やや好調の状態が続いている。国内外観光客の増加や建設業界の好調さ、消費税増税前の駆け込み需要による個人消費の活発さなどが挙げられる。一方で、建設資材の高騰などによる経費の増加、消費税増税と環境税導入による原材料価格やエネルギーコストの上昇など、安定した企業収益確保が難しい状況が続いている。

関連分野別動向

観光関連 前回70点→今回73点

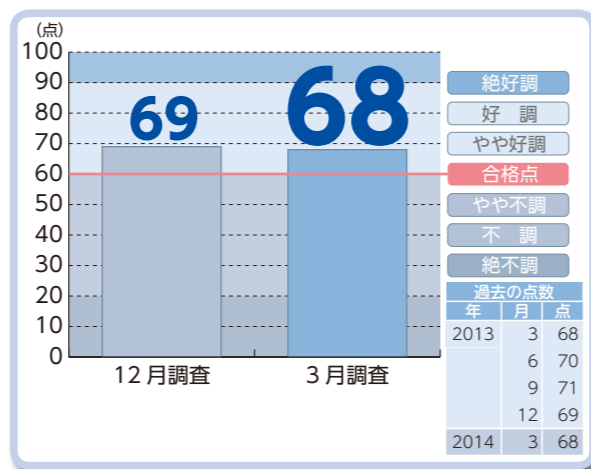
2月に関東地方を襲った大雪により、一時的に宿泊客やレンタカー利用者のキャンセルはあったが、総じて観光客は増加した。宿泊施設では利用客増加によりオーバーブッキングとなったホテルもあったようだ。プロ野球キャンプだけでなく沖縄国際映画祭などのイベントが定着化したことも、観光客増加に寄与したと見られる。

建設関連 前回75点→今回70点

駆け込み需要で受注した工事等により、特に民間工事が活発だ。しかし、一部の戸建て住宅メーカーでは、建設資材の高騰や人件費の高騰などが利益を圧迫し始めている。

食品関連 前回67点→今回67点

消費自体は堅調に推移している。観光客増加に伴い、売り上げを伸ばした食品製造メーカーもあったが、原材料価格高騰もあり値上げに踏み切



る事業者もあった。

消費・サービス関連 前回66点→今回63点

消費関連では、消費税増税前の駆け込み需要により、買い置きできる商品の売れ行きが好調だった。IT関連では人手不足状態が続いている。中古車販売では一時的な駆け込み需要が見られた。

「沖縄点気」…経済指標評価、県内企業30社程度へのヒアリング調査、社会情勢評価など、独自の手法により、それぞれ100点満点で評価し、加重平均することにより沖縄点気を算出。



経済指標評価



	12月調査	3月調査
経済指標総合評価	71点	71点
観光関連	77点	77点
建設関連	73点	70点
食品関連	70点	70点
消費・サービス関連	63点	70点

ヒアリング評価

観光関連は、旧正月を中心に外国人観光客数の増加が顕著であった。石垣島については、新年に入り、業績が落ち込んだ事業者もあるようだ。建設関連は、マンション建設が依然好調。一戸建住宅販売では、人件費や資材単価の高騰により売り上げ確保に苦慮する事業者もいる。食品関連は、売り上げは好調だが、4月以降値上げを検討する事業者もある。消費関連では、消費税増税後の消費落ち込みにむけ、さまざまな対応策を実施し始めた。

※ 2013年12月調査時の点数が“-”の事業所は、前回調査非対応先



指標(点数)の見方			
12月調査時の点数	3月調査時の点数	3カ月後の点数	
ヒアリング総合評価	67点	68点	62点
観光関連	63点	71点	66点
建設関連	70点	68点	66点
食品関連	64点	65点	65点
消費・サービス関連	66点	65点	53点

観光関連



「ホテル」 - 点 → 75点 → 65点	前年と比較すると、客足が安い商品にシフトしている。単価は下がっているが、見込み以上に客数が増加したことにより前年を上回った。インターネットからの予約は、毎年20%増だが、その分リアルエージェント(旅行会社)系で入ってくる客が減っている。
「ホテル」 - 点 → 90点 → 70点	リゾートホテルが順調に推移しており、前年を大きく上回った。スポーツ合宿に加えて、独自のイベント効果により増加した分が上乗せになった。全体としては、4月以降も予約状況は好調だが、石垣島は1月以降、大幅に落ち込んでおり、今後もしばらくは続くと考えている。
「ホテル」 60点 → 70点 → 50点	売り上げは前年比増。満室の日も多かったが、客数は前年比で微減。年末に値上げした分が売り上げ増に寄与した。ゴールデンウィークの日並びが良くないことと、修学旅行の獲得に苦慮していることもあり、今後の予約状況は芳しくない。
「旅行会社」 60点 → 80点 → 80点	業績は非常に良く、好業績だった昨年の水準を維持できている。台湾大手の食品会社から大型の社員旅行案件を受注している。台湾だけでなく韓国も好調。毎月5～6千人の予約があり、自社のキャパいっぱいという状況である。一方で、ホテル客室の確保が課題。
「旅行会社」 70点 → 60点 → 70点	予約状況は良かったが大雪などの影響を受け、売り上げは前年比微増。今後の予約状況は国内で団体客が多く、概ね前年比6割増。海外も好調で、台湾客を中心に前年比2～3倍となる月もある。一方で、機材の座席数、ホテル客室、バスなどの確保が非常に困難な状況。
「交通」 70点 → 70点 → 60点	観光バスの売り上げは前年比微増、混載バスの売れ行きが良い。定期観光バスの売り上げは、2割程度の増加。定期観光バスでは、外国人の利用が引き続き増加し、3割程度を占めるようになった。観光バスの運賃制度が改定され、今夏から大幅な値上げを予定している。
「レンタカー」 65点 → 68点 → 73点	売り上げは前年比増。旧正月以外も安定した香港客・台湾客の需要があり、落ち込んだ石垣の分をカバーできた。4月からゴールデンウィークまでの状況からも前年を上回ると見込んでいる。また、香港-那覇便も1日2便となり、その分のプラスも大きいと見込んでいる。
「レンタカー」 60点 → 70点 → 60点	売り上げは前年よりもやや増加した。2月は関東の大雪によるキャンセルがあったものの単月で前年並みを維持し、3月は前年比増となった。3月の好調が消費税増税前の駆け込み需要による可能性や、各世帯とも3月で大きな出費をしている可能性もあり、旅行控えが懸念される。
「ウエディング」 60点 → 60点 → 65点	売り上げは、国内海外ともに前年並みとなった。消費税増税前の予約への駆け込みも特に見られなかった。今後の予約状況は前年比で1割程度増加。リーズナブルなプランを用意したチャペルをオープンし、予約状況は上々。国内客だけでなく海外客からも申し込みがある。

建設関連



「建設資材」 75点 → 65点 → 70点	今後数年は安定した受注が見込める。建設人材不足は依然深刻。例えば、中城村に建設中のイオンモールでは1日当たり2千人の作業員が必要になる。建設中のオリオンホテルが800人程度。人材確保や作業員の宿泊・飲食場所なども今後必要になってくるはずだ。
「建設資材」 80点 → 65点 → 60点	資材価格が増税前に比べ5～20%程度上昇している。仕入れ先の見直しも検討しているが販売価格への転嫁は時間の問題だ。リフォーム受注が徐々に増加している。水周りの工事が多い。受注単価は消費税増税前後で半減している。
「建設」 60点 → 60点 → 60点	受注状況は好調。2～3年前の厳しかったころに比べると、以前の状態に戻つつある。人件費の高騰は頭の痛い問題。本土の大手も進出しており、資金力で高額の給与を提示されてしまうと、県内事業者も応戦せざるを得ない。消耗戦になることがこわい。

「マンション」 60点→60点→60点	建設費が3割程度上昇している。室内の建材コストを抑えるなどで対応している。そのため、昨年建設したマンションと比べると室内の質感に簡素さが出てくるかもしれない。今後もマンション需要はあると見ている。当社でも80戸規模のマンション建設を予定している。
「マンション」 50点→60点→40点	販売中のマンションの売れ行きが好調で完売も間近。周辺にある集合住宅家賃の値上がり要因の一つのようだ。北中城村に建設中のイオンモール周辺の区画整理地区は非常に魅力的。消費税増税の反動により、10月頃までは低迷する時期になると予想している。
「住宅」 95点→100点→100点	すでに消費税10%を見越して動いている消費者も多く、特に共同住宅建設が好調。ただし、通常より工期が長くなることを説明している。大手キッチン製造メーカーの工場が大雪のため倒壊し、業界全体にしわ寄せがきている。納期は通常の2週間程度から3カ月以上。
「住宅」 50点→50点→60点	資材価格が5～9割程度上昇し、利益がほとんどない状態。消費税増税の影響よりも深刻。リフォーム需要の取り込みで注力している。リフォームの問合せは多かったが、人手不足で対応できなかった。沖縄のリフォーム市場は5%程度だが、当社は潜在需要があると見ている。
「不動産」 75点→80点→80点	売上は前年より好調が続いている。不動産関連では企業の設備投資のために土地を探す動きが続いている。本土飲食チェーン店が県内へ出店に向けた物件探しの動きも継続して続いている。交渉から契約までのスピード早くなってきており、業界全体としても好調となっている。

食品関連



「食品製造」 85点→90点→90点	売り上げは前年比で増加。インバウンド客は増加傾向にあり、特にアジア圏の団体客が好調となっている。香港での売れ行きも好調で、年内にはシンガポールでも商品を販売していく。売り上げが減少傾向にある店舗は観光客だけでなく地元客の飲食利用を増やしていきたい。
「食品製造」 65点→60点→60点	売り上げは前年比で増加が続いている。新商品開発にも力を入れており、従来の当社イメージとは異なる商品を5月頃に発売予定。消費税増税や原材料価格の高騰もあり4月から実質値上げをしている。ただ、メインの顧客が観光客なので、大きな影響はないと考えている。
「食品製造」 53点→54点→58点	売り上げは好調だが、消費税増税前の駆け込み需要によるものだと考えている。現在注力しているB to Cは利益率が高いので、もしかしたら今年か来年には利益はB to Bを上回るかもしれないと期待している。今後は質の高い客の取り込みを図っていききたい。
「食品製造」 60点→70点→50点	消費税増税前の駆け込み需要で売り上げは前年比の2倍となっている。缶詰類の売り上げが特に好調だったが、そのほかレトルト食品や賞味期限の短い商品も好調だった。4月以降の反動を恐れている。原材料価格の上昇傾向が続いており、その点も懸念材料となっている。
「食品製造」 60点→65点→55点	売り上げは好調に推移。消費税増税前の駆け込み需要と連動して当社商品も購入されたのではないかと。増税による反動は少ないと考えている。ただ、原材料価格やエネルギー価格の高騰により利益幅が少ない。今後は、実質値上げし、利益の確保につとめていく。
「漁業」 55点→55点→50点	水揚げ量、魚種ともに芳しくない。高値の付くキハダやメバチの漁獲量が格段に減少している。このほか小物マグロの水揚げが大きく増加。幼魚ばかりがとれて成魚がとれてないという状況で、今後の成魚の漁獲量や、生態系への影響が懸念される。
「農業」 60点→60点→90点	紅イモが不作となっているが、自社の分は自社農場や連携農家からの収穫で確保できており、売り上げも予想通りの範囲内となっている。今後、紅イモを加工する工場を新設して、付加価値の高い最終商品の製造、販売を行っていく予定。

消費・サービス関連



「外食」 65点→65点→50点	売り上げは前年比10%増。ショッピングセンター入居店が消費増税前駆け込みの買物客の取り込みで成功し好調。観光客向け店舗も上向き。路面店は本土企業の進出ラッシュにより若干売り上げ減。食材価格自体は上がっているが仕入価格固定化によりコスト抑制している。
「外食」 65点→60点→50点	売り上げは昨年並み。プロ野球キャンプの時期に天気良かったこともプラスに作用したとみている。消費税増税の対応としては、新たに高付加価値メニューを売り出すとともに価格据え置きと比較的安価なメニューを併存させる方法を取っている。
「小売」 65点→68点→60点	トイレットペーパーやおむつなどの紙関連の売り上げが前年の2～3割増。一方で衣料品は、夏物、紳士服、婦人服が前年比60%程度。食品は昨年並みだが、3月下旬に調味料や乾物が駆け込み需要で伸びた。飲料は気温が低く低調。野菜価格は県産品単価が暴落した。
「中古車販売」 65点→70点→50点	1～3月の売り上げは、例年の倍に迫る勢いで、消費税増税前の駆け込み需要の恩恵を受けた。3カ月で中古車フェアを3回実施した効果が出た。売れ筋は引き続き軽自動車とハイブリッド車。中古車の仕入れ市場は、引き続き落ち着いている。
「中古車販売」 -点→60点→40点	1月に前年の倍の台数が売れるなど、消費税増税前の駆け込み需要の動きがみられたが、2、3月は販売台数が前年割れするなど伸び悩んだ。ローン金利が正規ディーラーの方が有利なケースが多く、それも影響したようだ。売れ筋は、軽自動車とハイブリッド車。

「自動車販売」 65点→70点→45点	売り上げは前年比25%増と好調。ハイブリッド車が好調で、全販売に占めるハイブリッド車比率は60～70%程度。メーカー側との契約で、ハイブリッド車の台数を確保できたことも好調を支えた。2月の豪雪の影響は、メーカー側の努力で台数の確保が間に合った。
「IT」 70点→60点→60点	お客さまの消費税増税対応のサポートに注力するため、その他の受注案件の受注調整を行っているが、新規案件の引き合い自体は、昨年並みに来ている。業界としては、引き続き人材不足が続いており、特に若い世代の人材不足が顕著。
「IT」 -点→70点→65点	売り上げは前年比で5～10%程度増。業界全体の景況感としても非常に良い。東京への開発人員の提供が活性化してきている。開発人員は沖縄ではすでに不足状態であるが、安い単価で人を出しているという話も聞こえてくる。

社会情勢評価

入域観光客数が増加傾向にある一方、宿泊施設不足の問題が見られる。また、消費単価の落ち込みも、依然として懸念材料である。マンション建設が依然好調。今後100戸規模の建設予定もある。建設中の一戸建て住宅建設では、人件費や建設資材価格の高騰などで、事業者の利益確保が難しくなっている。食品関連は、観光客向け商品を製造する事業者を中心に売り上げが好調。消費関連は、消費税増税直前に一時的な駆け込み需要が見られた。IT業界は引き続き人手不足が続いている。



	12月調査	3月調査		
社会情勢総合評価	75点	75点	3カ月後	加算減算項目
観光関連	78点	72点	66点	6点
建設関連	80点	71点	66点	5点
食品関連	71点	67点	65点	2点
消費・サービス関連	69点	56点	53点	3点

※ヒアリング調査における3カ月後の見通しに、今後の社会情勢を弊社にて加味し、加算減算したもの

観光関連



●プラス要因	●マイナス要因
1. 円安続伸による観光客増加	1. ホテル客室の供給不足と価格競争の激化
2. LCC就航・路線拡充によるFIT観光客増加	2. 消費単価の減少
3. 新石垣空港開港による観光客増加	3. 観光関連産業従事者の低待遇問題
4. 海外からのクルーズ船寄航数増加	
5. 海外客の顕著な増加(前年比約30%増)	

建設関連



●プラス要因	●マイナス要因
1. 新築マンションやアパート建設の堅調な需要	1. 職人不足と賃金の上昇
2. 金融機関の積極的な融資姿勢	2. 資材の高騰
3. 低金利の住宅ローン	3. 不動産価格販売価格の上昇
4. 本土企業による不動産物件賃貸需要	4. 消費税増税後の不動産販売の減少予想

食品関連



●プラス要因	●マイナス要因
1. 円安に伴う観光客増加による売り上げ増への期待	1. 消費増税に向けた消費者の買い控えへの懸念
	2. 円安などに伴う原材料価格の上昇による原価の押し上げ
	3. 商品値上げによる、消費者離れの懸念

消費・サービス関連



●プラス要因	●マイナス要因
1. IT業界好調による人材獲得競争増加	1. ガソリン価格の高騰
2. 観光客の消費は好調に推移	2. 世界的な生産コスト上昇に伴う販売価格の上昇の可能性
3. 人口増加による小売業の好調	3. 3カ月連続となる電気料金の値上げ
4. 植物工場による野菜価格・質の安定化	4. エコカー補助金終了後の反動による需要減